

新たにシニアカー購入補助制度を設けてはどうか

シニアカーだけでなく市民ニーズに合った方法を幅広く調査し、研究・検討していく



岡本 禎稔
自由民主党田原市議団



高齢化が進展しても安全に安心して暮らせる社会の構築について

問 高齢者の安全運転および交通事故対策の現状は。

答 自家用車への後付けブレーキ踏み間違い防止装置の設置補助制度（サポカー補助金）や、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務とされたことに伴う購入補助を行っている。また、免許証返納支援として、70歳以上の運転免許証自主返納者にコミュニティバスの1年間無料乗車券や1年分の元気バス引換券、さらに運転経歴証明書の発行を受けた方に、たまぼポイント（1,000ポイント）を交付している。

問 介護保険の中にシニアカーのレンタル料支援制度があるが、自動車運転免許証を返納しても介護認定を受けるに至らない方への支援策として、新たにシニアカー購入補助制度を設けてはどうか。

答 移動手段としてどのような支援ができるか、交通安全面にも配慮しながら、国や県、近隣市町の動向を注視しつつ、シニアカーだけでなく市民ニーズに合った効果的な方法を幅広く調査し、研究・検討していく。

問 高齢者が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし、地域の中で交流を図る社会参画を促すための生活サポートについて対応策は。

答 免許返納状況等を踏まえた外出支援の検討や、民生児童委員、高齢者支援センターと情報共有した見守り活動、地域で助け合う生活ささえあいネットのほか、田原市地域包括ケア推進協議会の生活支援部会において、委員から生活サポートに必要な情報提供をいただき、施策を検討している。また、委員が地域の生活課題について地域ニーズ、地域資源を把握し、地域の生活課題解決に向けた検討を行っている。



新型コロナウイルス感染症対策について

問 本市のワクチン接種推進の取り組み状況は。

答 市内17医療機関における個別接種と市内2カ所における集団接種を実施しており、十分な接種機会の提供に努めている。接種予約もインターネットとコールセンターで受け付けており、対象者への個別通知、広報紙・ホームページにて周知・啓発を行っている。

問 5歳から11歳の子どものワクチン接種の努力義務化が発表されたが、本市の対応は。

答 接種を強制するものではなく、保護者と本人でよく話し合った上で判断できるように、接種券と一緒にワクチン接種に関する資料を送付し、安心して接種してもらえるよう努めていく。

認知症の本人や、介護者への支援の取り組みは

認知症初期集中支援チーム設置など、本人や家族の視点を重視し、包括的に取り組んでいる



内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団

